

挨拶

主催者挨拶



島谷 克義

公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団 理事長

来賓挨拶



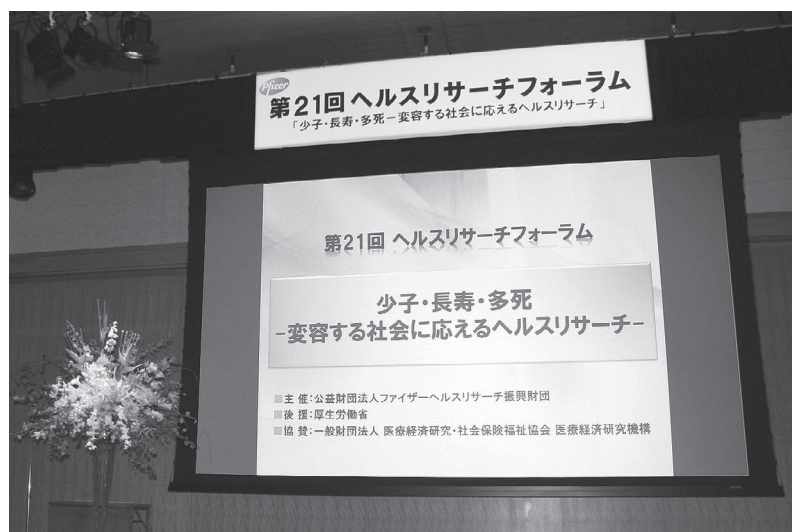
白川 泰之

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構 研究主幹



梅田 一郎

ファイザー株式会社 代表取締役社長



主催者挨拶

公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団 理事長
島谷 克義

ファイザーヘルスリサーチ振興財団の島谷です。主催者を代表して、ご挨拶を申し上げます。

本日は第21回ヘルスリサーチフォーラムおよび平成26年度研究助成金贈呈式にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、日頃は当財団の事業活動に多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本日は厚生労働省大臣官房厚生科学課長 椎葉茂樹様、医療経済研究機構研究主幹 白川泰之様、ファイザー株式会社代表取締役社長 梅田一郎様よりご挨拶をいただくことになっております。よろしくお願ひ申し上げます。

本日のプログラムは、最初に行われるフォーラムでは合計35題の研究発表がございます。平成23年度に助成を受けた2題、平成24年度に助成を受けた31題、ならびに一般よりご応募いただいた演題2題になります。そのうち既に14題が午前中のポスターセッションで発表が行われており、午後にはこの会場でホールセッションとして21題が発表される予定です。午前中と同様、活発な議論が交わされるものと期待しております。

フォーラムに引き続き、平成26年度の研究助成受賞者の発表ならびに贈呈式が行われます。選考の詳しい結果は委員長の永井先生から後ほどご説明をいただきますが、本年も171件という大変多くのご応募をいただき、厳しい選考を経て、その中から33件が助成対象として採択されました。採択をされた皆さまには心よりお喜びを申し上げます。

財団発足の平成4年から合計で737件が採択され、助成総額は17億5,411万円になりました。主たる出捐企業であるファイザー株式会社ならびに関係団体や個人の皆さまのご尽力の賜と、深く感謝致しております。

その他に、現在2つの記念事業が進行しておりますので、ご紹介させていただきます。

1つ目は、昨年のフォーラムが20回を迎えましたので、記念誌を作成しております。記念誌の発刊にあたり、評議員の金澤一郎先生、選考委員長の永井良三先生、第10回ヘルスリサーチワークショップ代表幹事の京都大学 猪飼宏先生の3人にお集まりいただき、『ヘルスリサーチ20年ー良い社会に向けて』という重要なテーマで鼎談をしていただき、その内容を掲載させていただいております。また、この記念誌には選考委員を始め各界の10人の先生方から、ヘルスリサーチに関わる医療、薬学、哲学、教育等の多彩な内容でご寄稿をいただいております。また、昨年第20回のフォーラムにおける永井先生の特別記念講演も再録させていただいております。加えて、財団の20年の事業活動の内

容や歴史も詳しくご紹介しております。ヘルスリサーチを総合的に捉えた興味深い内容になっていると自負しております。この記念誌は来月早々には皆さまのお手元にお届けできると思いますので、ぜひご高覧をいただければと存じます。

もう1つは、若手のヘルスリサーチ研究実践者の出会いと学びの場として始まったヘルスリサーチワークショップが、本年度で10回目となりました。6月には記念イベントを開催しました。各分野の第一線で活躍されている方々50人が集まり、日本の医療の将来、ヘルスリサーチが果たすべき役割について、丸1日かけて喧々諤々、活発な議論をされました。その記録集も年内に刊行する予定ですので、ご期待ください。

ただ今ご紹介申し上げたように、当財団の事業活動は皆さま方のご協力の下、長い歴史を刻むことができいております。これまでの活動が日本の医療の向上に幾許か貢献していることを信じ、また、これからもさらにお役に立つよう、努力して参る所存でございますので、皆さま方の引き続きのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。